

■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第 34 号 ■■■  
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.34

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: [ws@univcoop.or.jp](mailto:ws@univcoop.or.jp)

\*\*\*\*\* I N D E X \*\*\*\*\*

- 事務局からのお知らせとお願い
- 大会関係
- 2014年度活動方針
- 第13回大会のお知らせ
- 『福祉社会学研究』第11号刊行と第12号の投稿募集
- 理事会報告
- 新入会員紹介

■事務局からのお知らせとお願い

●住所変更や Email のアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当宛（学会メールアドレス）お知らせください。周辺で Newsletter を受信できていない方がいる場合は学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

■大会関係

【第 12 回大会】 第 12 回福祉社会学会大会が、去る 2014 年 6 月 28 日・29 日に東洋大学白山キャンパスにて盛況のうちに開催されました。参加者は 127 名でした。

【総会報告】 大会前日の 27 日夜間（試行）に理事会が開催され、諸案件について承認・決定されました。これを受けて、2 日目午後総会が開催されました。総会の開始にあたり三重野卓会長の挨拶、開催校を代表して秋元美世理事の挨拶がありました。引き続き菊池いづみ会員（日本社会事業大学）が議長に選出され、議長の進行のもと報告と審議が行われました。

●報告事項・審議事項

1. 委員会報告：庶務・事務局

高野庶務理事・事務局長より、学会の現況について以下の報告があった。

(1) 2014 年 6 月 27 日現在の会員数は 472 名である。

(2) News Letter 34 号を刊行予定である。郵送およびメーリングリストで配信するが宛先不明で返送される場合があり、異動の際は大学生協学会支援センターに住所変更等の手続きを行っていただきたい。

2. 研究委員会

須田研究委員長より以下が報告された。

(1) 2013 年度は研究会を 3 回開催した。2014 年度は 5 回の研究会を計画している。

(2) 12 回大会の大会シンポジウムの準備を行った。

3. 編集委員会

白波瀬編集委員長より以下が報告された。

(1) 福祉社会学研究第 11 号が刊行された（5 月末日）。

(2) 自由投稿論文の投稿数は多かったが、掲載数は 2 本であった。会員の積極的な投稿をお願いしたい。

(3) 第 12 号の自由投稿論文の投稿期限は 9 月 5 日 23 時 59 分まで、書評対象書の情報提供期限は 9 月 5

日、会員の著作情報の提供期限は11月29日である。

#### 4. 社会学系コンソーシアム・社会政策関連学会協議会報告

社会学系コンソーシアムについて、稲葉担当理事より世界社会学会議「世界へのメッセージ」が公開されたため、会員への周知を行うことが報告された。

続いて社会政策関連学会協議会について、三重野担当理事より活動状況が報告された。

#### 5. 2013年度決算の提案・監査報告

高野庶務理事より2013年度決算案が提示され、説明がなされた。引き続き、牧園清子監事より、牧園清子・松原一郎両監事による同案の監査報告が示され、誤植の修正を行ったうえで承認された。

#### 6. 2014年度活動方針の提案

高野庶務理事より「2014年度活動方針案」が提示され、承認された。

#### 7. 2014年度予算の提案

高野庶務理事より2014年度予算案が提示され、2013年度とほぼ同規模の予算案であることを中心に説明がなされ、同案が承認された。

#### 8. 第13回大会開催校の提案

高野庶務理事より、2015年大会を名古屋大学で開催することが提案され承認された。引き続き、開催校の上村泰裕会員より挨拶があった。

9. 議長の交代の後、高野庶務理事が閉会を告げ、第12回大会総会はつつがなく終了しました。

---

### ■2014年度活動方針

---

1. 福祉社会学会は、これからも、福祉(welfare, well-being)や社会政策の社会学に関心を持つ研究者中心の学術団体として活動していきます。
2. 第12回大会を、2014年6月に東洋大学で開催します。2015年度開催の第13回大会についても、その準備を進めていきます。
3. 機関誌『福祉社会学研究』の第12号の刊行に向けて、編集作業を進めていきます。
4. 大会に加えて、多様な研究テーマに基づく研究活動に積極的に取り組みます。
5. 日本学術会議の協力学術研究団体として、いっそう他の学術団体との連携につとめていきます。
6. 学会誌のJ-STAGEへの掲載など、研究成果の対外的発信にいっそうつとめていきます。
7. WebやEmailを活用し、事務の外部委託による効率化などによって、会員への情報・サービス提供の充実と事務作業の簡便化を進めるとともに、確実な情報提供につとめていきます。

---

### ■第13回大会のお知らせ

---

福祉社会学会第13回大会は、2015年に名古屋大学で開催されることになりました。詳細は決まり次第、ニューズレターおよびホームページでお知らせいたします。

---

### ■『福祉社会学研究』第11号刊行と第12号の投稿募集

(第12号の投稿締切は9月5日必着です。)

●【第11号の刊行】 『福祉社会学研究』第11号(Journal of Welfare Sociology, No.11)が刊行されました(ISSN 1349-3337 ISBN978-4-7989-1236-3)。目次は以下のとおりです。

#### ■特集1 比較福祉研究の新展開

特集「比較福祉研究の新展開」に寄せて — 上村泰裕

東アジアの企業福祉と社会保障制度 — 末廣昭

アジアにおけるケアレジームの比較研究 — 落合恵美子

福祉国家と市民社会の「相互排除パラダイム」を再考する — 仁平典宏

## ■特集2 福祉社会学のアジェンダを問う

福祉社会学のアジェンダを問う — 杉岡直人・高野和良

福祉社会学の到達点と理論的課題 — 三重野卓

福祉社会学研究の今後の課題 — 平野寛弥

福祉社会学の研究動向 — 田淵六郎

## ■自由論文

「子育てひろば」における男子学生ボランティアの関わり — 堀聡子

住民の計画能力の形成要因と方法 — 萩沢友一

## ●【『福祉社会学研究』第12号の原稿募集について】

下記要領で、『福祉社会学研究』第12号の自由投稿論文を募集します。投稿資格は、本会会員に限ります。2014年度の加入者については、6月の大会時までに入会済みであることが条件となります。

1. 論文の種類、自由投稿論文 福祉社会学研究の学術論文とします。なお、投稿資格は、本会会員に限ります。
2. 掲載の可否 レフェリーの査読結果に基づき、編集委員会が決定します。
3. 締め切り 2014年9月5日（金曜日）（23時59分までに必着）
4. 論文の分量 20,000字以内とします。スペースは字数に含めません。
5. 投稿規程、執筆要領 投稿規程、執筆要領はウェブサイト等でかならず確認してください。論文の分量が超過するなど、執筆要項が守られていない場合には、投稿論文を受け付けません。投稿は紙媒体ではなく電子ファイルで行います。投稿する場合には、ワードの文書ファイルの形式で、メールにて編集委員会事務局までお送りください。かならずファイルのバックアップを取った上で、必要に応じてパスワードを付けてください。その場合には別のメールにてパスワードをお知らせください。紙媒体の提出は一切必要ありません。
6. 自由投稿論文提出先、問い合わせ先 投稿は受領後に受領通知をお知らせします。受領通知の発行をもって、論文の投稿が成立します、投稿後1週間以上経過しても受領通知が到着しない場合には、編集委員会事務局までお問い合わせください。

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学社会学部三井さよ研究室 福祉社会学会 編集委員会事務局（メールアドレス jws-henshu@l.u-tokyo.ac.jp）

## ●【『福祉社会学研究』第12号の書評対象著作の募集について】

『福祉社会学研究』第12号でとりあげる書評対象の著作を募集します。会員の著作であること、単著であることを原則としますが、共著・編著でも書評対象とすることがあります。編集委員会事務局まで、1冊の献本をお願いします。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできません。この点はお含みおきください。

募集は、投稿論文と同じ2014年9月5日まで受け付けます。

送付先・問い合わせ先：〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学社会学部三井さよ研究室 福祉社会学会 編集委員会事務局（メールアドレス jws-henshu@l.u-tokyo.ac.jp）

## ●【会員の刊行書籍情報の募集について】

『福祉社会学研究』第12号刊行に向けて、会員のみなさまの活動状況を広くお知らせするために、2014年1月～2014年10月末までに刊行されたみなさまの単著、編著等の書籍情報（雑誌掲載論文等は除く）について、その情報（著者、書籍名、刊行時期、出版社）を、編集委員会（jws-henshu@l.u-tokyo.ac.jp）までお知らせください。

情報提供の締切は、2014年11月29日（金）17時00分までとします。

---

## ■理事会報告

---

- 2013年度 第1回理事会 議事録（一部省略）

日時：2014年6月27日（金） 19時00分～20時30分

場所：東洋大学白山キャンパス2号館6階会議室C

出席者：秋元、安立、井口、稲葉、岡部、後藤、白波瀬、須田、高野、田渕、三重野、三井

●報告事項・審議事項

開催に先立ち三重野会長の挨拶が行われた。

1. 研究委員会報告：岡部副研究委員長から2013年度の研究会の開催状況、2014年度の研究会開催計画について報告された。大会プログラムの作成（部会編成等）は研究委員会が行い、印刷等の実務は開催校が主として行うこととするが、開催校とも十分調整を図りながら進めることを確認した。
2. 編集委員会報告：白波瀬編集委員長より機関誌第11号が刊行されたこと（5月31日付）、また、機関誌第12号の刊行に関する事項が報告された。大会シンポジウムを機関誌の特集とするかどうかの判断は、研究委員会と協議し編集委員会で行うことが2013年度第2回理事会で確認されているが、機関誌第12号の特集は大会シンポジウムの内容を基に検討することなどが報告された。
3. 学会賞委員会報告：安立学会賞委員長より、今後の進め方について報告された。対象書の購入予算について検討を行うこととなった。
4. 社会学系コンソーシアム報告：稲葉担当理事より世界社会学会議「世界へのメッセージ」が公開されたことが報告され、会員への周知を行うこととなった。
5. 社会政策関連学会協議会報告：三重野担当理事から、協議員会議の議事録をもとに活動状況が報告された。
6. 14年度活動方針案について：高野庶務理事より報告・提案があり、一部訂正のうえ承認された。
7. 13年度決算案の承認・監査結果について：高野庶務理事より2013年度決算案と監査結果の説明があり、審議の結果、一部訂正のうえ決算案を承認した。
8. 生協との委託契約の継続承認：高野庶務理事より大学生協学会支援センターとの事務委託契約の今年度の継続について提案され、承認された。
9. 機関誌の発行元について：高野庶務理事より2013年度第2回理事会で機関誌の発行元変更の検討開始が承認されたことを受け、その後の経緯等の説明があり、審議のうえ、継続して検討し、次回理事会での方針決定を目指すことが承認された。
10. 14年度予算案の承認について：高野庶務理事より2014年度予算案の説明があり、一部訂正のうえ予算案を承認した。
11. 総会の運営について：高野庶務理事より大会総会の議事および運営案が提案され、承認された。
12. 次回以降の大会開催について：高野庶務理事より第13回大会の開催校として名古屋大学での開催が提案され、承認された。
13. 新規入会者の承認、退会希望者の確認、会員状況報告：高野庶務理事より一般会員は6月24日現在で472名であること等が報告された。また、新規入会者27名の承認と退会希望者の確認が行われた。
14. 事務局報告：高野庶務理事より入会申込のあり方については、機関誌の発行元の見直しとあわせて引き続き検討を行うことが報告された。
15. 第12回大会に関して：開催校の須田理事より開催、運営に関して報告があった。
16. 次回理事会を12月20日（土）14時から東洋大学にて開催することを決定した。

---

## ■新入会員紹介

---

（Web版では省略）

【発行・編集】 福祉社会学会事務局